



若者を社会に送り出す教職員の皆様へ

上の絵のようなことは、社会人になって誰もが感じたのではないのでしょうか。

「働くこと」と「社会保障」は、生活を支えるセーフティネットの両輪です。「人生100年時代」を迎え、結婚、出産、病気、老後といったそれぞれのライフステージで、社会保障制度を利用しながら自分どのように働き生きるのか、これまで以上に重要になってきます。

併せて、次世代を担う生徒の皆様には、社会保障制度の正しい理解とその課題の解決方法を当事者として模索する力が求められます。

その育成のため令和4年4月から高等学校において社会保障制度に関する教育が実施されています。私たちは、出前授業を通じて、4つの力を身につけられるよう、貴校のキャリア教育をお手伝いします。

- 社会人として主体的に考え働き生き抜く力
- 自分を守り、他人を気遣い、互いにつながりながら問題を解決する力
- 支援が必要な時にはそれを求める力
- 自ら問題意識を持って持続可能な社会をつくるために行動する力

生徒、学生の皆さんが安心して社会に巣立っていけるよう、

私たちの出前授業をぜひご活用ください。